

学識と実行力を備えて 「地域を担う中核的人材」 になろう!

<地域リーダー育成プログラム 履修ガイド>

単位互換
協定校

The Iwate Higher Education Consortium

岩手大学

*

岩手県立大学

*

岩手医科大学

*

富士大学

*

盛岡大学

*

一関工業高等専門学校

*

岩手保健医療大学

目的

平泉や賢治らに育まれた共生の思想(人と自然との共生、万物の共生)を尊び、地域全体を思いやるリーダーとして、コーディネート力を備え、多様な領域・局面で地域の中核を担う人材の育成を目指します。

概要

いわて高等教育コンソーシアムの連携校(単位互換協定校)の学生を対象に、単位互換科目のコア科目を修めれば「**コア科目履修証**」を発行し、さらに地域課題解決プロジェクトを遂行して審査に合格した学生には連携校の学長及び校長の連名による「**地域を担う中核的人材認定証**」を授与します。

プログラム内容

コア科目(地域科目を含む)

いわて高等教育コンソーシアムで指定している単位互換科目で、地域課題や復興に関わる以下の5科目(各2単位)がコア科目です。ここから**4科目8単位**を修得してください。ただし、「いわて学」と「ボランティアとリーダーシップ」の2科目は必修科目ですので、必ず4科目の中に含めてください。コア科目の開講時期は変則的です。詳細はコンソーシアムのサイトや連携校の掲示等で確認してください。

「いわて学」は前期・後期に開講していますが、前期・後期どちらかの単位を修得することで1科目2単位と計上できます。ただし、前期・後期の両方の単位を修得した場合でも1科目2単位分しか計上できません。

- いわて学[前期・後期開講](必修科目)
- ボランティアとリーダーシップ(必修科目)
- 地場産業・企業論／企業研究
- 危機管理と復興
- グローバル基礎研修【科目名「地域グローバル課題演習」】

なお、必修以外に修得する2科目4単位については1科目2単位を「地域科目」(p.4「地域科目一覧」参照)で読み替えることができます。その結果、必修科目を2科目4単位、必修以外の科目を1科目2単位、地域科目を1科目2単位修得すれば「コア科目履修証」を発行します。

地域課題解決プロジェクト(授業科目ではない)

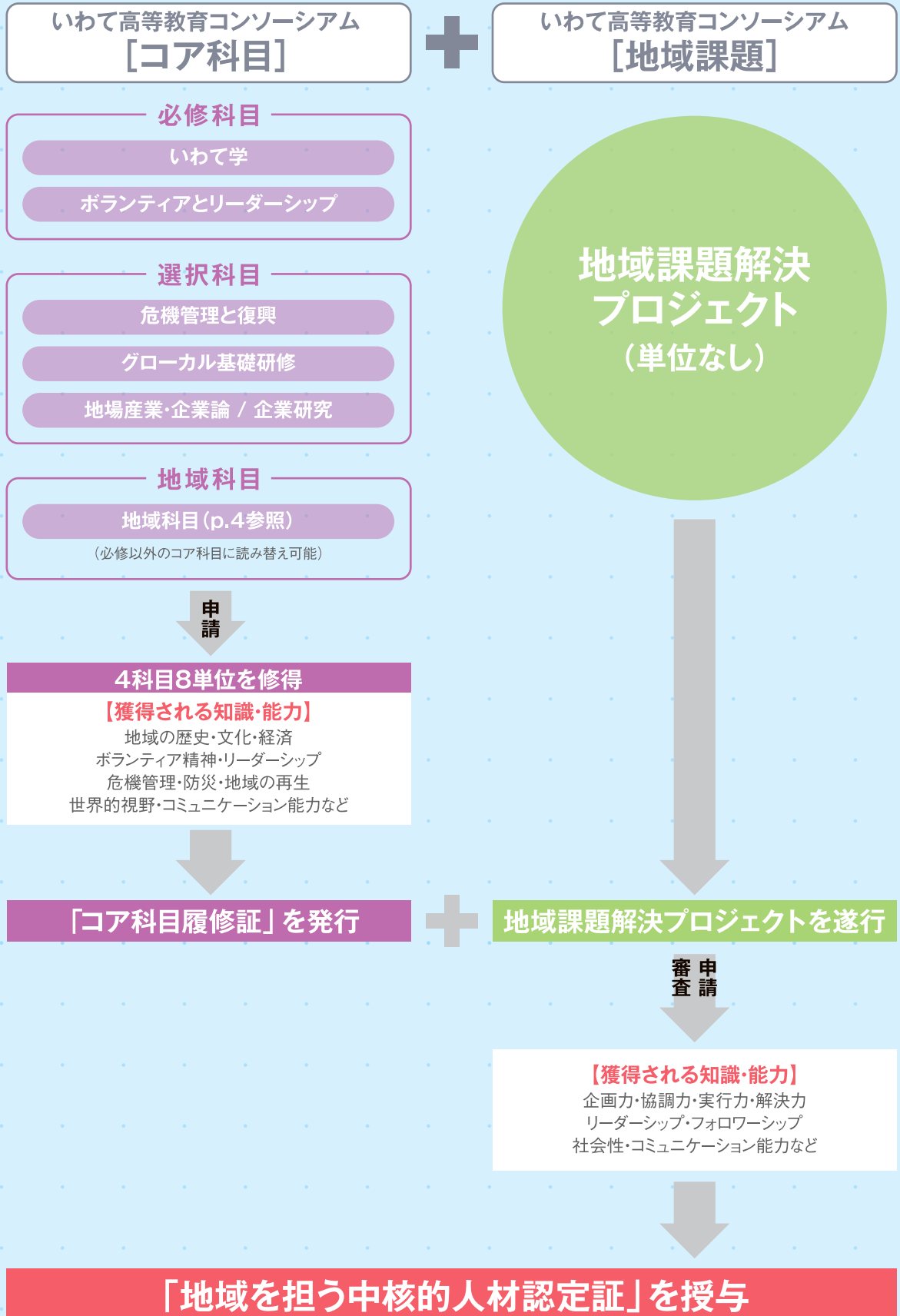
以下の通り**プロジェクトを遂行**してください(p.5も参照)。

- いわて高等教育コンソーシアムで募集するプロジェクトに参加するか、新たなプロジェクトを立ち上げ、実施する。
- プロジェクトは、単発のイベントで終わることなく、継続的に取り組めるものにする。
- プロジェクトはグループ活動として**複数の連携校にまたがる複数名で実施**する。
- プロジェクトの実施に際し、担当教員を定め、**担当教員の指導を受ける**。

プログラム受講上の注意

- プログラムの実施期間は特に定めません。コア科目の受講や課題解決プロジェクトへの応募については、**連携校での掲示に注意**してください。
- プログラム内容を満たした場合には、随時、履修証や認定証の申請手続きを行ってください。

プログラムのしくみ



「コア科目履修証」の取得方法

コア科目履修証の 申請と認定

下記 (pp.3-4) のコア科目から4科目8単位を修得 (修得見込みを含む) したら、いわて高等教育コンソーシアムのサイトから申請書 (p.6参照) をダウンロードし、必要事項を記入の上、所属校の担当係 (学務係等) へ提出してください。

いわて高等教育コンソーシアム事務局にて単位の取得状況が確認できれば、地域リーダー育成プログラムの「コア科目履修証」をコンソーシアム運営委員長名で発行しますので、所属校で受け取ってください。

コア科目 (必修科目)

●「いわて学」(岩手県立大学:前期&後期:各2単位)

◆岩手県立大学の学生は、自大学の科目名前期「いわて学A (I)」または後期「いわて学B」で受講してください。岩手県立大学以外の学生は、それらの科目を単位互換として受講してください。なお、単位互換で受講する場合は、いわて高等教育コンソーシアムのサイトの「単位互換」ページにアクセスし、指示に従って特別聴講学生志願書を作成し、所属校の担当係 (学務係等) へ提出してください。

◆前・後期とも、主に土曜日を使った変則的集中講義として開講されます。開講案内が各連携校で掲示されますので、見逃さないようにしてください。

●「ボランティアとリーダーシップ」(前期)

◆この科目は岩手大学で開講する科目です。岩手大学以外の学生は単位互換で受講してください。その場合は、いわて高等教育コンソーシアムのサイトの「単位互換」ページにアクセスし、特別聴講学生志願書を作成し、所属校の担当係 (学務係等) へ提出してください。

◆「ボランティアとリーダーシップ」は、9月の上旬~中旬に、沿岸被災地での合宿を含む約5日間の集中講義として開講されます。

コア科目
(選択科目
及び地域科目)

●「地場産業・企業論／企業研究」(岩手大学／岩手県立大学:前期:2単位)

- ◆岩手大学の学生は、自大学の「地場産業・企業論」で受講してください。岩手県立大学の学生は、自大学の「地場産業・企業研究」で受講してください。他の連携校の学生は、岩手大学の「地場産業・企業論」を単位互換で受講(受講方法はp.3「いわて学」の欄を参照)してください。
- ◆主に平日の午後2コマを使う変則的集中講義として開講されます。開講案内が各連携校で掲示されますので、見逃さないようにしてください。

●「グローバル基礎研修」(前期)、「危機管理と復興」(後期)

- ◆これらの科目は岩手大学で開講する科目です。岩手大学以外の学生は、単位互換で受講(受講方法は p.3「いわて学」の欄を参照)してください。
- ◆「グローバル基礎研修」は、科目名「地域グローバル課題演習」(カールキビスト先生クラス)(前期)で受講してください。この科目は留学生との共修で、フィールドワークや合宿などを含む集中講義形式で開講されます。
- ◆「危機管理と復興」は、10月以降の土曜及び日曜を使い、沿岸被災地視察等を含む変則的集中講義として開講されます。
- ◆これらの科目は、開講時期が近づいてくると、開講案内が各連携校に掲示されますので、見逃さないようにしてください。

●地域科目一覧

- ◆下記の科目は「地場産業・企業論／企業研究」、「危機管理と復興」、「グローバル基礎研修」のいずれかと1科目2単位分のみ読み替えが可能です。
- ◆下記の通り岩手大学と岩手県立大学での開講科目ですが、単位互換科目として受講(受講方法は p.3「いわて学」の欄を参照)できます。

岩手大学:教養教育:1年次以上:各2単位	岩手県立大学:基盤教育:1年次以上:各2単位
地域防災課題演習	地域社会と健康
地域クリエイティブ課題演習	異文化間接触と多文化共生
—	人間と職業
—	地域と情報

「地域を担う中核的人材認定証」の取得方法

地域を担う 中核的人材認定証の 申請と認定

「地域を担う中核的人材認定証」は、申請時において、既に「コア科目履修証」を取得しているか取得見込みであり、かつ下記の地域課題解決プロジェクト(単位なし)を遂行した学生が対象です。

これらの条件を満たしたら、推薦書(担当教員が作成・提出)が必要となるので、地域課題解決プロジェクトの担当教員と相談の上、いわて高等教育コンソーシアムのサイトから申請書をダウンロードし、必要事項を記入して、所属校の担当係(学務係等)へ提出してください。

申請書が出されると、コンソーシアムの地域人材育成推進委員会等で内容を審査し、合格すれば、いわて高等教育コンソーシアム連携校の学長・校長の連名で「地域を担う中核的人材認定証」を発行します。

なお、「コア科目履修証」の申請と「地域を担う中核的人材認定証」の申請は、同時に行っても構いません。

地域課題解決 プロジェクト

●「地域課題解決プロジェクト」

(毎年いわて高等教育コンソーシアムで参加者を募集)

- ◆コア科目履修者等にはプロジェクトへの参加を案内します。案内がない場合は、コンソーシアム事務局へ直接問い合わせてください。(連絡先はコンソーシアムのサイト参照)
- ◆コンソーシアムとしての活動ですので、複数の連携校の学生と一緒に活動します。
- ◆活動場所が遠隔地の場合は、日帰りだけでなく宿泊する場合があります。活動地への移動はコンソーシアムでバス等を用意します。その際、コンソーシアムのプロジェクト担当者が同行します。
- ◆活動に必要な消耗品等は、原則としてコンソーシアムで準備します。また、成果物(～マップなど)の印刷も予算内であれば可能です。ただし、飲食費などは支給できません。
- ◆プロジェクトの目的や活動内容等については各自がしっかり考えた上で取組み、活動後は修得した能力や自身の成長について、報告書にまとめられるようにしてください。
- ◆プロジェクトへの参加は、複数年度に渡っても、コア科目の履修と前後・並行しても構いません。

●コンソーシアム連携校で募集する類似のプロジェクト

- ◆地域の課題解決を目指すプロジェクトであれば、各連携校で実施されるプロジェクトを、コンソーシアムで募集するプロジェクトと同等と見なします。
- ◆ただし、1連携校の学生だけによる活動は対象にしませんので、必ず複数の連携校(自校+1連携校以上)の学生(自連携校以外の学生1名以上)と共に活動してください。
- ◆また、活動に際しては、プロジェクトを募集している連携校の担当教員(1名以上)の指導を受けてください。

令和 年 月 日

いわて高等教育コンソーシアム

地域リーダー育成プログラム
 コア科目履修証・地域を担う中核的人材認定証
 申請書

私は、地域リーダー育成プログラムの所定の科目を修得・課題を遂行しましたので、以下のとおり申請します。(以下、該当する□にレ点を入れる。)

- コア科目履修証 地域を担う中核的人材認定証

*コア科目履修証のみの申請は、下記の実施した地域課題解決プロジェクト名は空欄

所属校名		学籍番号	
氏名		フリガナ	
単位取得科目名 (4科目8単位以上)		開講年学期	
<input type="checkbox"/> いわて学 (←大学により表記が一部異なります) 【必修】			
<input type="checkbox"/> ボランティアとリーダーシップ 【必修】			
<input type="checkbox"/> 地場産業・企業論 / 企業研究			
<input type="checkbox"/> 危機管理と復興			
<input type="checkbox"/> グローカル基礎研修			
<input type="checkbox"/> 地域科目名:			
実施した地域課題解決プロジェクト名		実施期間 (年月～年月)	
参加者数		参加者所属校名	
担当教員名		担当教員所属校名	

※ 中核的人材認定証の申請には、本申請書のほかに、実施したプロジェクトについて、以下の内容を項目別に明記した報告書 (A4横書き:枚数は自由) を提出してください。

【必要事項】

- ・プロジェクト名 ・実施期間 (年月～年月) ・参加者名 (+所属校名) ・担当教員名 (+所属校名)
- ・実施内容 ・その成果 ・プロジェクト遂行に際して自身が果たした役割



発行所

いわて高等教育コンソーシアム事務局

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18-8

岩手大学総務広報課 内

令和6(2024)年3月30日発行